

## 雨宮・サバンナRX-7 13B

0~400m 11.43sec 最高速 258.06km/h

■パワーは掛値なしに260HPは出ているであろう。純然たるレーシングカーに思えるが、日常の足としても使えるチューニングがミソ。足回りはサスがF雨宮製、Rノーマル、ショックはF雨宮製、Rハヤシ8段階で、操縦性能も高い。これだけの車が100万円程度の費用でできるから驚き!!  
なお、CDIは興栄製で技群のマッチング。

名なメーカーはリップススピード、ジャンスピードなど。もともと速いクルマを作っている国、西ドイツにもいる。速いBMWをより速くするアルピナ、フォードのザックススピード、あの高級車メルツエデスのAMGなどである。

同様に速いクルマの国イタリアにもアルファのアウトデルタ、少々古いがフィアットのアバルトはチューナーのボス的存在。きわめて厳しい法律でしぼられている我が日本にも多くのチューナーが存在する。彼等はレースやラリーカーを作ること为本業にする。今月はこれらのチューナーのマシンを引っ張り出してその実力のほどを探ってみようというわけだ。

**レーシングカーそのもののRX-7**

チューンアップされたクルマといっても、その目的、チューンの段階によっていろいろあり十把ひとからげでは語れない。まず、エンジンを大幅にチューンし50~100%のパワーアップをほどこし、恐るべき動力性能を得ているクルマ。例えば、サバンナRX-7は13Bのペリフェラルポートタイプを積んでいる。ま、いってみればレーシングエンジンなのである。このサバンナRX-7 (雨宮チューン)は0~400mを11秒43、最高速は258.06km/hという信じ難い動力性能を示した。